

# サンクチュアリセンターニュース

## コハクチョウ初飛来

10月6日、旧若柳町市街地を流れる迫川でコハクチョウ25羽が確認されました。今季の第一陣です。平年より3日早く、昨年より1日遅い飛来でした。

## vol.89

## 平成29年11月号

## スマホを使った研究発表が学会の優秀賞を受賞しました！

ELR2017（応用生態工学会等の合同学会）にて、財団と北海道大学が共同で行っている研究がポスター賞（優秀賞）を受賞しました。この研究は環境省の支援を受けて実施しているもので、スマホで水の中の生物を簡単にモニタリングできる技術です。

色々な地域で、誰もが手軽に水中体験&調査ができるツールづくりを目指しています。今回の受賞を機に、今後も研究の発展に取り組みます。



① スマホを水中にセット



② 室内から自在に操作可能



③ 遠隔操作で魚が撮れます。  
スマートフォンの画質は高く、魚の体色や細やかな形状も写ります。



本研究は、環境研究総合推進費（1-1602）「フィールド調査とロボット・センサ・通信技術をシームレスに連結する水域生態系モニタリングシステムの開発」の助成を受けて実施しています。

## H29年度伊豆沼・内沼自然体験講座参加者募集

H29年度伊豆沼・内沼自然体験講座の申込みを受付けております。沼の岸辺をのんびりと歩きながら野鳥を探しましょう。

第9回・10回 ガンの飛び立ち観察会&沼歩き探鳥会

日時：12月2日（日）6:00～10:00 1月13日（日）6:00～10:00

対象：小学生以上（小学生の人は保護者と一緒どうぞ）

参加費：1,000円（朝食代等）

集合場所：伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター鳥館

定員：両日とも先着順20名まで 持ち物：履き慣れた靴または長靴、防寒着

お申し込み・お問い合わせは事務局までお願いします。（ホームページからも申込みできます）



# 豊田合成東日本(株)とトヨタ自動車東日本(株)の皆さんが、環境保全活動に取り組みました。

10月15日に豊田合成東日本(株)とトヨタ自動車東日本(株)の社員と家族110名の方々が伊豆沼・内沼で保全活動を実施しました。活動内容はヨシ刈りと散策路の整備(杭打ち・ロープ張り)を行いました。ヨシ刈りは昨年も行っており、慣れた手つきで手鎌を使い刈り取り、次々とヨシを束ねていきました。

散策路の整備ではパイプを埋め込むための穴を開けるのに苦労していたようですが、きれいに誘導用ロープを張ることができました。研究員による生態系・環境保護についての勉強会にも参加し、ラムサール条約登録湿地である伊豆沼・内沼に対する保護意識を高めました。



ヨシ刈り、散策路の整備に参加した豊田合成東日本(株)・トヨタ自動車東日本(株)の皆さん、ありがとうございました。

## よしの幼稚園年中組のみなさんが来ました！

10月17日、よしの幼稚園年中組88人のみなさんが宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリセンターに来館しました。初めて見る鳥の剥製などの展示物や映像などに興味津々な様子でした！



この貝おっきい！



これなに～？



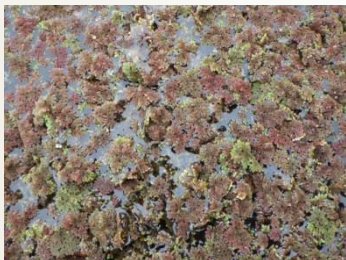
これ動くよ～！

## 伊豆沼・内沼生き物図鑑 アイオオアカウキクサ - 沼の厄介者 -

朝晩が寒い今日この頃、伊豆沼周辺の木々も色づき、すっかり秋の装いとなりました。先日伊豆沼に出かけたところ、水面が赤く染まっていました。よく見ると細かい浮草が紅葉しています。それも、ものすごい数です。

浮草の正体はアイオオアカウキクサ。外国産のアカウキクサの雑種で、一見水面を漂うゴミのようですが、実はシダの仲間です。一時期流行した合鴨農法のエサとして導入された水草で、特技は大繁殖です。大繁殖の秘密は、肥料の原料である空気中の窒素を利用できるからで、そのため緑肥としても使われていたようです。一見利用価値の高い草のように思えますが、合鴨はこの草をあまり好きでないため、食物としての価値は微妙です。時間がたつにつれて分布が広がり、湖沼の水面を覆い尽くし、水草の光合成を阻害しています。今となっては単なる邪魔者です。

外来種を持ち込む際は、野外に広まる恐れがないか、我が国の生態系に悪影響を及ぼさないか、きちんと確認すべきです。それを怠った良い例がアイオオアカウキクサです。



### <事務局>

〒989-5504宮城県栗原市若柳字上畑岡敷味17-2  
(公財)宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団

ホームページ：<http://izunuma.org/>  
Tel:0228-33-2216 Fax:0228-33-2217  
E-mail:izunuma@circus.ocn.ne.jp